

翌春に出荷！加工専用キャベツ「ジュビリー」の作り方

概要 Abstract

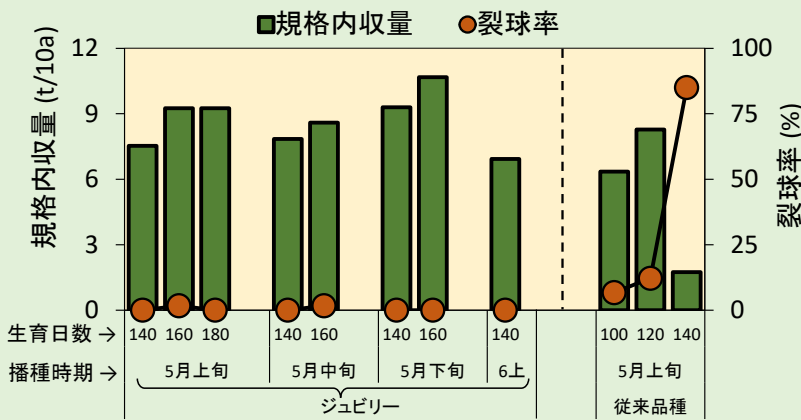
加工専用キャベツ「ジュビリー」の直播栽培により、安定的に高収量を得ることができます。

秋の収穫物を低温貯蔵することにより、翌年4月頃まで出荷することが可能です。

市場価格から生産者受取価格を試算したところ、従来品種に比べ高い所得が見込めます。



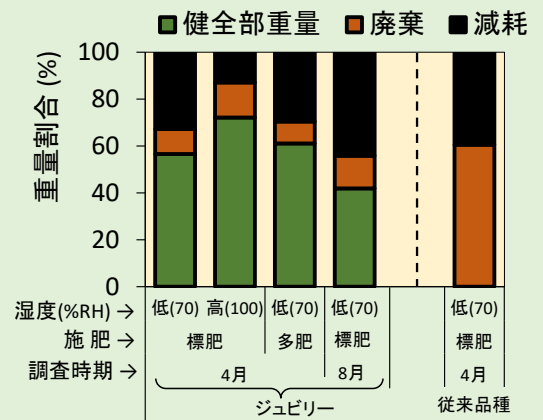
成果 Results



生育日数160日以上 of 収量は **9 t / 10a** 程度

従来品種は生育日数が長くなると裂球が急激に増加

「ジュビリー」は **裂球が極めて少ない**



低温貯蔵後、翌年4月の従来品種の健全部重量割合(歩留)は0%
「ジュビリー」は **55% 以上**

「ジュビリー」の直播栽培法

- 播種時期：5月上旬～下旬
- 栽植密度：4,167株/10a (畝間×株間：60cm×40cm)
- 生育日数：160日以上

「ジュビリー」の特徴



- 葉がつまっている
- 肉厚で歯応えが強い
- 主な用途は加熱調理
- ロングライフサラダや冷凍加工品への利用が期待される

普及 Dissemination

播種時期が干ばつ条件の時は出芽の遅れや収穫時一球重のばらつきが大きくなる可能性があります。

球高が機械の適用範囲に収まらないことから、現時点では国産収穫機による収穫は推奨されません。

連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 生産技術グループ
0155-62-2431
tokachi-agri@hro.or.jp